


プリムラの株分け、贈り物の 西洋ラン		
2005年9月	長月(ながつき)・菊月(きくづき)・寢覚月(ねざめつき)・晩秋(ばんしゅう)	●朝夕はめっきりと涼しくなり、秋が深まります。
●植物も暑さがやわらぎ、ホッとひと息ついていることでしょう。夏の鮮やかな花壇もそろそろ終わりに近づきます。 ●台風対策もしっかりと行いましょう。		
庭木の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・10月初めまでは、常緑樹の植え替え時期です。 ・台風のシーズンに入るので、倒れないように 支柱を立ててしっかり結束しましょう。 ・下旬になると 生長がとまってくるので、手入れの時期にはいります。 ・茂りすぎた大きな木では、台風前に 枝を間引きして風あたりを少なくします。春に花の咲く花木類では、花芽のついた枝を あまり切らないようにしましょう。 	
草花の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・秋まきの種の種まきをします。芽がでたところを コオロギに食べられないように注意しましょう。 ・夏の草花類の種子が実るので、来年用に集めて 乾燥させ、袋につめて空きカンにいれて 貯えておきます。 	

今月の誕生花	キク、フヨウ、リンドウ	
今月の花	コスモス	
	花言葉/乙女の真心、調和、野生美、少女の純潔	
	赤は、乙女の愛情/白は、乙女の純潔 葉は、水につかると腐るので、下葉は取り除いたほうがいいでしょう。	
	<p>原産地はメキシコ・アメリカです。キク科コスモス属の1年草。草丈は80cm～1m。開花時期は4月～11月。最盛期は7～9月。別名は秋桜(アキザクラ)。葉の形状は 羽状に細かく切れ込んでいて糸状、対生。花色は 赤、ピンク、黄、オレンジ、白。コスモスとは、ギリシャ語の「美しい」という意味の言葉が語源です。英語では、コズモズと読みますが、「宇宙」の意味もあり、「調和」という花言葉は そこからきています。</p> <p>「野生美」は、どんな雨や風でも、必ず立ち直って またすぐに花をつける ところからつけられたようです。</p>	

プリムラの株分け

- プリムラの仲間は、暑さと乾燥に弱いものが多いので夏の間に株消えするものが多くあります。
- やっと生き残った株は、9月中旬ごろになって、やや生気を取りもどし、新しい根を出しかけています。
- この時期に株分けして植え替えてやれば、秋の間に充実した株に育ちます。



●株分けの方法

親株の土をよく落とし、下方についている古い根茎は思い切って取り除きます。そして新しい根だけをつけて1芽または2芽ずつに分けます。同時に枯れかかった古葉も取り除きます。



●植えかた

鉢で育てるには、4号鉢(径12cm)に「1株植え」がよく、肥えた培養土を水はけよくして植え込みます。庭では、春には日が当たり夏は半日陰となるような場所が最適で、腐葉土や堆肥をたくさん混ぜ込んでおきます。10cm~15cmおきに1株ずつ植えて、根元をしっかりと押さえ、十分水を与えて根づくのを待ちます。株わけのときに根がつかなかった株でも、植えておけば葉のつけ根の所の茎から根を出すので、捨てることのないようにしましょう。



●根づいたら...

1週間ほどで根づくと、葉が元気になって色つやを増してきます。ハイポネックスなどをうすく溶かした水肥を10日に1度の割合で2~3回与えてやると肉の厚い濃緑色の葉が増えて、晩秋ごろには、しっかりと充実します。

贈り物の 西洋ラン

贈り物としていただいた生きた鉢植えを育てていくのは、本当に難しいことです。切花より、多少寿命が長いだけでいつかは枯れてしまうのでは、もったないしかわいそうですね。

胡蝶蘭(コチョウラン、ファレノプシス)、シンビジウム、デンドロビウム……高級な花々が、来年も咲いてくれたら どんなにいいでしょうか？

●根づいたら……

まず、寒さに当てず、かといって高温にもせず、最低で10度、最高15度くらいで保つと長持ちします。

肥料は不要です。

水がいちばん問題で、多く与えて根が過剰状態になると根腐れをおこしてしまいます。



霧吹きを用意しておき、花やつぼみに霧水をふきかけ、根元にも水をあたえないで、霧水をときどき吹きかけましょう。

ランは、本来たいへん強い植物なので、岩や木の上に着生して、雨季の雨で育ち、雨のない乾季には、乾燥に耐えて成熟して花を咲かせる植物です。

1週間旅行にでかけて水をやらなかったからといって、花が枯れることはないのです。



●花がおわったら……

花がらを取り、低温と乾燥過湿に気をつけながら、春まで見守り、サクラが咲くシーズンに植え替えます。

大株は株分けし、腐った根は除き、新しい鉢に植え込んで1ヶ月ほどは光線の当たる暖かくて風のあたらない場所で、新しい根がでてくるのを待ちましょう。